

村史上空前の大惨害 伊勢湾台風

のつめあと

村民の皆さんへ

和泉村長 杉本又助

伊勢湾台風は、天災を知らない安楽郷の本村に、過去幾百年夢想だにしなかつた大惨害をもたらしました。あれから早や一カ月になりましたが、暗黒の裡に吹きすさぶ強風、あける様な豪雨、巨石大木を押し流す濁流の音、その中から助けを求める悲痛のさけび、一夜明けて眺めたあの悪魔の爪跡、今尚皆さんの耳に眼底にこびりついていると存じます。

この災害に依つて殉職されました消防団員谷口雄作君を始め、尊



雨天体操場を流失し校庭は石原と化した(大和小学校)

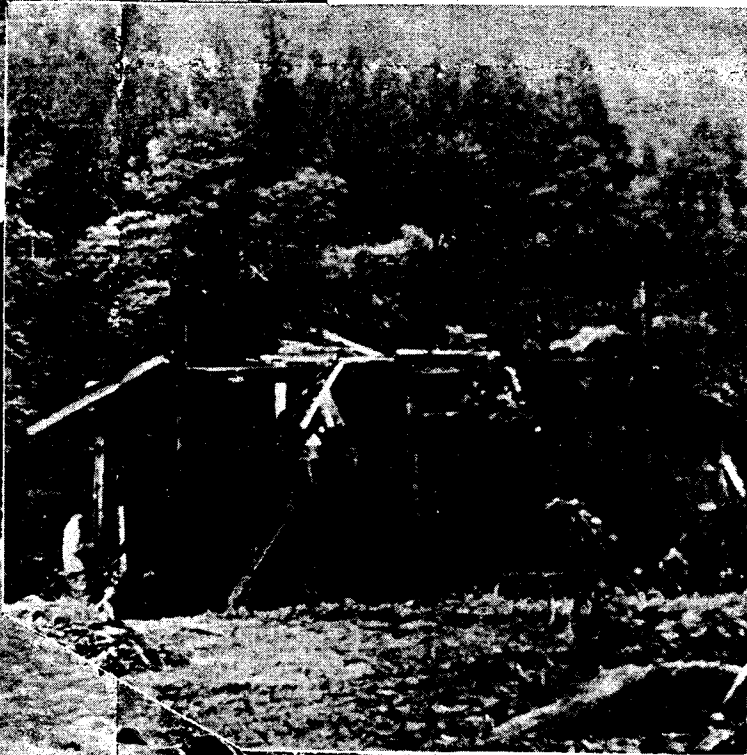
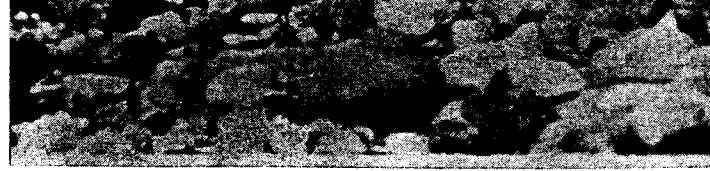


九頭竜川、石徹白川の濁流は一瞬のもとに合流地点朝日を泥海と化した(手前は22名の人命を奪つた朝日中学校付近)福井新聞社提供



発行所
福井県大野郡
和泉村公民館
印刷所 松浦印刷所

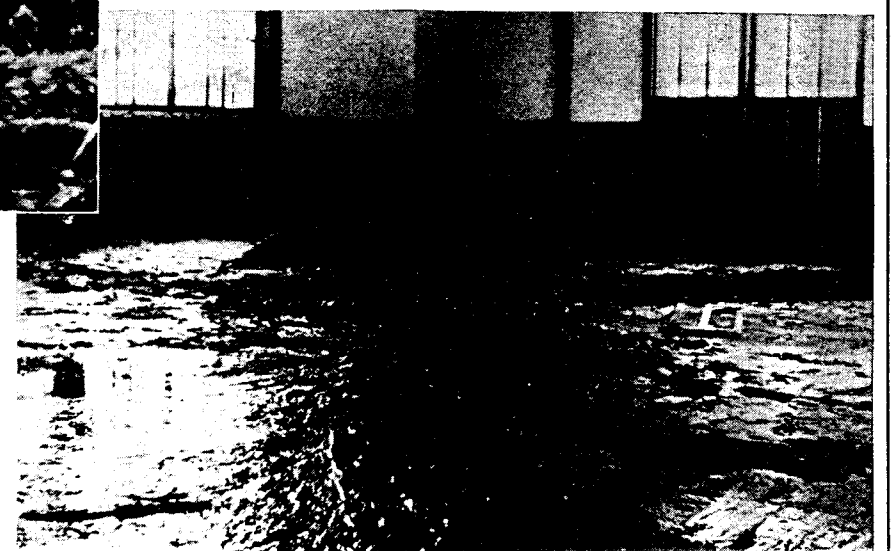
災害写真集
災真



この流木が家屋を壊滅し人命を奪つた(大谷地係)



ズタズタに決壊された国道金沢～岐阜線 (上半原立岩地係)



↑暴風に惨禍を残した家屋(野尻)

い人命を失われました二十六名の方々の御無念、父母を、妻子を失われ、御遺族の方々の心中に思いを馳せまします時、誠に心痛み断腸の思いであります。ここに謹んで御弔慰申し上げます。

幸い生命に別状なかつたとは云え、家屋を流され家財一切を失つて着のみのままの毒な方々、明日の生活を支える丹精こめて作った作物、先祖伝来の耕地、我が子の様に愛撫した植樹を流失又は埋没し、莫大な損害を蒙つた皆様、方々の御胸中、如何ばかりかと察し、まして御慰めの言葉もありません。

然し史上最大の惨禍はあまりにも大きく、道路、電燈、電話共に、災害発生と同時に対策本部を設け、緊急措置を講じましたが交通、

りますが着々本工事に取回さかかっています。砂防、堰堤、道路、河川、堤防等の完全な復旧をなし、再びこんな惨禍を繰り返さない様にすると共に、荒廃した耕地、林道、用水等、農林業施設を復旧するには最少限度拾億円を要します。これには勿論我々村民の不撓不屈の努力が必要であります。大部分は国、県の力にすがりますが、外に途はありませぬので、村議会一丸となつて極力努力してまいります。去る二十二日、村上建設大臣来村の際も陳情致しましたところ、二度とこんな災害の起らない完全な復旧の出来る措置を講ずる様努力すると言明されましたので非常に力強く思っています。

私は一刻も早く平和な郷土を、びもどす為、生命をかけても、悲運を乗り越え、禍を転じて福になすべく頑張つて行きたいと思、ます。村民の皆様が御協力、御協力を御願ひする次第であります。最後に本村の惨状が報道され、す、あらゆる機関の「和泉村救済」の声に呼応して、県下各から救援物資や義援金を寄せられ、既に皆さんのお手許に届いてい、事と存じます。又県連合青年団は、救援率仕団を組織せられ、水の後始末に協力して下さいまし、私達はこの温い同胞愛に感謝し、つ、平和な安楽郷、明日の和泉を建設して子孫に残しましょう。

